

令和3年度 クリーニング師試験（学科試験）

（令和4年2月4日実施）

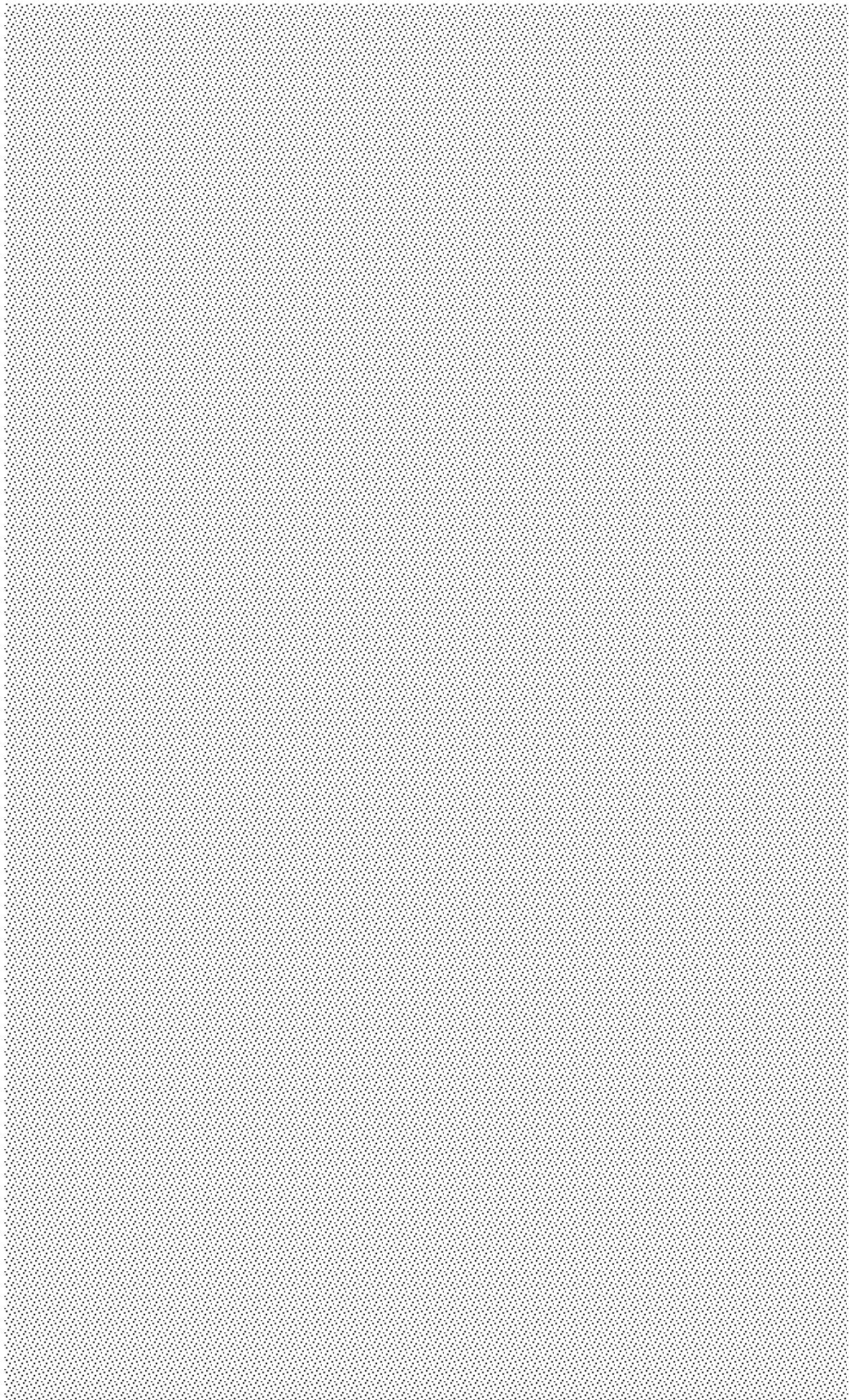
試験時間：午前9時40分～午前11時00分(80分)

【注意事項】

- ◎ 指示があるまで開いてはいけません。
- ◎ 解答用紙には、氏名・受験番号を記入してください。
- ◎ 解答は、問題の指示に従い、解答用紙に記入してください。
- ◎ 問題の内容についての質問には、お答えできません。

受験番号

福 井 県



1 衛生法規に関する知識

問1 次の文は、クリーニング業法の目的、定義、および営業者の衛生措置に関する記述である。文中の空欄①～⑦に入る語句を、下の語群の中からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング業法は、クリーニング業に対して、(①) 等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を(②) に適合させるとともに、利用者の利益の擁護を図ることを目的とする。
- (2) 営業者は、(③) 以外において、営業として洗たく物の処理を行い、又は行わせてはならない。
- (3) 「クリーニング業」とは、(④) 又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を(⑤) 洗たくすることを営業とすることをいう。
- (4) 営業者は、(③) 及び業務用の(⑥) 並びに業務用の機械及び器具を(⑦) に保たなければならない。

(語群)

ア：業界発展	イ：清潔	ウ：解体して	エ：脱水
オ：営業所	カ：公衆衛生	キ：完全	ク：溶剤
ケ：衛生基準	コ：クリーニング所	サ：原型のまま	シ：漂白剤
ス：無菌	セ：直接	ソ：公共の福祉	タ：車両

問2 次の文は、クリーニング業法、および同法施行規則に基づく、利用者に対する説明義務等に関する記述である。文中の空欄①～⑤に入る語句を、下の語群の中からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) (①) は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、利用者に対し、洗濯物の(②) 等について説明するよう努めなければならない。
- (2) (①) は、洗濯物の受取及び引渡しをするに際しては、厚生労働省令で定めるところにより、利用者に対し、(③) の申出先を明示しなければならない。
- (3) クリーニング所においては、(③) の申出先となるクリーニング所の名称、(④) 及び電話番号を(⑤) に掲示しておくとともに、洗たく物の受取及び引渡しをしようとする際に、当該掲示事項を記載した書面を配布する。

(語群)

ア：所在地	イ：苦情	ウ：意見	エ：処理料金
オ：営業者	カ：漂白	キ：仕上げ	ク：営業者名
ケ：店頭	コ：クリーニング師	サ：異議	シ：処理方法
ス：洗淨	セ：ホームページ	ソ：洗剤	タ：洗濯方法

問3 次の(1)～(4)について、クリーニング業法施行規則第1条に規定する「消毒を要する洗たく物」として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。ただし、(1)～(4)は、いずれも伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがないものとする。

- (1) 介護福祉施設で入所者が使用したおむつ
- (2) 旅館で客が使用した枕カバー
- (3) 病院で医療従事者が使用した白衣
- (4) 公衆浴場で使用されたタオル

問4 次の(1)～(4)について、営業者の衛生措置等に関する記述として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) 洗濯物は、洗濯又は仕上げが終わったものと終わっていないものとに区分しておかなければならない。
- (2) クリーニング所に、業務用の機械として脱水機の効用を有する洗たく機を備える場合は、脱水機を備えなくてよい。
- (3) 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物を取り扱う際、洗濯が消毒の効果を有する方法によってなされる場合においても、洗濯する前に消毒しなければならない。
- (4) 洗場は、床が浸透性材料で築造され、これに適当な勾配と給水口が設けられていなければならない。

問5 次の文は、クリーニング業法第9条の業務従事者の業務停止に関する条文である。下表のア～ウのうち、文中の空欄①～③に入る語句の組み合わせとして、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

都道府県知事は、営業者又はその(①)で、洗濯物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが(②)の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不相当と認めるときは、(③)その業務を停止することができる。

	①	②	③
ア	家族	伝染性	1年を限度として
イ	使用人	伝染性	期間を定めて
ウ	使用人	流行性	1年を限度として

問6 次のア～ウのうち、クリーニング師の研修に関する記述として、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア クリーニング師は、業務に従事した後一年以内に、都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図るための研修を受けなければならない。
- イ 営業者には、そのクリーニング所の業務に従事するクリーニング師に対し、研修を受ける機会を与える義務はない。
- ウ クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、この研修を受けた後は、五年を超えない期間ごとに研修を受けなければならない。

問7 次のア～ウのうち、クリーニング師の免許証に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 免許を受けようとする者は、本籍地の都道府県知事に申請しなければならない。
- イ 本籍又は氏名を変更したときは、十日以内に、免許を与えた都道府県知事に、免許証の訂正の申請をしなければならない。
- ウ 免許証を紛失したときは、一月以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。

問8 次のア～ウのうち、クリーニング師に関する記述として、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 洗濯物の処理をするクリーニング所は、クリーニング師でなければ開設できない。
- イ 洗たく物の受取及び引渡しのみを行うクリーニング所には、クリーニング師を置かなくてもよい。
- ウ 営業者がクリーニング師であって、複数のクリーニング所でその業務に従事するときは、各クリーニング所にクリーニング師を置かなくてもよい。

問9 次のア～ウのうち、都道府県生活衛生営業指導センターに関する記述として、誤っているものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 生活衛生関係営業に関する衛生施設の経営の健全化について指導を行う。
- イ 生活衛生関係営業の衛生水準の維持向上、および利用者又は消費者の利益の擁護を目的とする公益社団法人である。
- ウ 毎事業年度、事業計画及び収支予算を都道府県知事に届け出なければならない。

2 公衆衛生に関する知識

問1 次のA群の文章(1)～(3)の組み合わせとして正しいものを、B群からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(A群)

- (1) 公衆衛生とは、環境衛生の改善、伝染病の予防、個人衛生の原則についての個人の教育、疾病の早期診断と治療のための医療と看護サービスの組織化、および地域社会のすべての人に、健康保持のための適切な生活水準を保障する社会制度の発展のために、共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、肉体的、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、技術である。
- (2) 健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全によい状態にあることであり、単に疾病又は虚弱でないということではない。
- (3) すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

(B群)

- ア 世界保健機関(WHO)憲章
- イ 日本国憲法第25条
- ウ ウィンスローの定義

問2 次の(1)～(4)について、感染症とその病原体の組み合わせとして正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

(感染症)

(病原体)

- | | | |
|-----------------------|-------|-----------|
| (1) コレラ | ————— | コレラウイルス |
| (2) AIDS (後天性免疫不全症候群) | — | HIV |
| (3) 新型コロナウイルス感染症 | ————— | COVID-19 |
| (4) レジオネラ症 | ————— | レジオネラウイルス |

問3 次のア～ウのうち、「地域保健法」で定められている保健所の業務として、誤っているものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 出生届、死亡届の受理に関する事項
- イ 人口動態統計に関する事項
- ウ 栄養の改善及び食品衛生に関する事項

問4 次のア～ウのうち、セレウス菌に関する記述として、誤っているものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア クリーニング業の施設がかかわる感染症事例として、病院リネンを介したセレウス菌の集団感染があり、病院のみならず、クリーニング業者においても細菌による汚染防止のための管理が重要となる。
- イ セレウス菌は一般的に毒性が強いため、必ず除菌する必要がある。
- ウ セレウス菌が形成する芽胞は、熱やアルコールにも抵抗性がある。

問5 次のア～ウのうち、「クリーニング所における衛生管理要領」に示されている指定洗濯物^{*}の一般的な消毒方法に関する記述として、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 80℃以上の熱湯（熱水）に、5分間以上浸す。
- イ 遊離残留塩素 250ppm 以上の次亜塩素酸ナトリウム水溶液中に、30℃・5分間以上浸す。
- ウ 殺菌効果のある界面活性剤を使用し、適正希釈水溶液中に、30℃・10分間以上浸す。

※クリーニング業法施行規則第1条に規定する消毒を要する洗たく物

問6 次のア～ウのうち、感染症に関する記述として、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 病原体を物理的または化学的方法により死滅させ、あるいは感染量に達しない程度まで大幅に減少させることを滅菌という。
- イ インフルエンザの主な感染経路は、ウイルスに感染した人が調理中に手指を介して汚染した食品を食べることによる経口感染である。
- ウ 感染症には、人から人にうつる伝染性の感染症のほかに、動物や昆虫から、あるいは傷口から感染する非伝染性の感染症も含まれている。

問7 次のア～ウのうち、衣類の害虫に該当しないものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア ツツガムシ
- イ コイガ
- ウ ヒメマルカツオブシムシ

問8 次の(1)～(3)について、標準営業約款制度(Sマーク制度)に関する記述として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) 標準営業約款に従って営業を行う者の登録は、都道府県知事が行う。
- (2) この制度は、理容業、美容業、クリーニング業、めん類飲食店営業および一般飲食店営業のみに設けられている。
- (3) 標準営業約款登録店である旨を表示するSマークは、Standard(安心)、Sanitation(清潔)、Service(サービス)の頭文字をとったものである。

問9 次の(1)～(10)について、環境や従業員を守るための規制に関する記述として、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) 建築基準法では、安全性の観点から、引火性溶剤を用いるドライクリーニング工場については、住居系地域や商業系地域における立地を制限している。
- (2) 水質汚濁防止法による排水規制は、政令で定める特定施設を設置する工場または事業場から公共用水域に排出される水が対象となるが、クリーニング所は特定施設に該当しない。
- (3) ドライクリーニング機械から排出する排液中のテトラクロロエチレンの管理濃度は、水質汚濁防止法及び下水道法に基づく排水基準で0.01mg/L以下としている。
- (4) クリーニング所で使用された石油系溶剤などを含む廃油等の廃棄物は、特別管理産業廃棄物に分類され、その処理に関する業務を適切に行うため、クリーニング所ごとに特別管理産業廃棄物管理責任者を置かなければならない。
- (5) 産業廃棄物の処理を産業廃棄物収集運搬業者又は処分業者に委託する場合、引渡しの際にマニフェスト(産業廃棄物管理票)の交付が義務付けられている。
- (6) ドライクリーニングを行うすべての洗濯事業者は、PRTTR制度に基づき、取扱う第1種指定化学物質の排出量および移動量を届け出なければならない。
- (7) 揮発性有機化合物(VOC)は、光化学オキシダントや微小粒子状物質(PM2.5)の原因物質である。
- (8) オゾン層は、太陽からの赤外線的大部分を吸収し、地上の生態系を保護しているが、近年、大気中へ放出されたフロン類によって破壊されている。
- (9) 土壌汚染対策法に基づき、テトラクロロエチレンなどの特定有害物質を使用していたクリーニング所の土地の所有者などは、施設の使用廃止時点において土壌汚染の調査を実施し、その結果を都道府県知事に報告しなければならない。
- (10) 労働安全衛生法に基づく「有機溶剤中毒予防規則」では、石油系溶剤などの有機溶剤を対象として、危険有害性の確認や作業主任者の選任、作業環境測定などを定めている。

3 洗たく物の処理に関する知識

問1 次の文章について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) 天然繊維は大きく分けて化学繊維と植物繊維に分けられる。
- (2) 衣料品の素材として幅広く使われている天然繊維で、吸湿・吸水性、保温性、耐熱性に優れた繊維は綿である。
- (3) ナイロンは化学繊維で最も用いられ、強度、耐熱性、耐光性、速乾性に優れている。
- (4) 織物がたて糸よこ糸から出来ているのに対し、ニットは1本の糸がループを作って絡み合っている。
- (5) ニットはドレープ性があるため、ワイシャツやスーツなどには用いられることが少ない。
- (6) 洗剤において pH が 3.0 未満のものを酸性洗剤という。
- (7) 毛皮製品のクリーニングはランドリーで行われる。
- (8) ランドリーはウェットクリーニングに比べ洗浄作用が強く、強い汚れに適している。
- (9) 毛皮は熱に強いので、表面はアイロンがけを行う。
- (10) 国内で使用されるドライクリーニング溶剤の多くは石油系溶剤である。

問2 次の文章の()に該当する語句を下から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 和服のクリーニング方法には、()、丸洗い、洗い張りの3つがある。
- (2) ドライクリーニングにおいて、ドライクリーニング溶剤は、汚れのうち()を分解する。
- (3) 繊維製品の染色工程の大きな流れは、()、漂白、染色、後処理である。
- (4) ランドリーで主に使用される漂白剤は、過炭酸ナトリウムと()である。
- (5) ランドリー工程における乾燥は一般的に()を使う。
- (6) 布面を針布や薊(あざみ)などで引っ搔いて毛羽立たせる加工を()加工という。
- (7) シミには大きく分けると次の3つがある。油性、()、不溶性。
- (8) 国内で使用されているドライクリーニング溶剤は、石油系溶剤の他に()がある。
- (9) テトラクロロエチレンは()性である。
- (10) スエードのクリーニングでは、前処理に()を用いて汚れを除去する方法がある。

(語群)

- | | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| ①動植物油・鉱物油類 | ②染料 | ③精練 | ④テトラヒドロフラン |
| ⑤泥や砂 | ⑥ドライ機 | ⑦水溶性 | ⑧酸性 |
| ⑨シャンプー洗い | ⑩生洗い | ⑪フッ化塩素 | ⑫レーヨン |
| ⑬不燃 | ⑭可燃 | ⑮アセトン | ⑯テトラクロロエチレン |
| ⑰ブラシ洗い | ⑱次亜塩素酸ナトリウム | ⑲起毛 | |
| ⑳人工毛皮 | ㉑スチームポッター | ㉒サンドブラスト | |
| ㉓タンブラー乾燥 | ㉔漂白 | | |






問3 次の文章の（ ）に該当する数値を下から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 糸の太さを表すデニールは、() m当たりの糸の太さが1 gであるものを1デニールという。
- (2) 綿素材製品のアイロンによる標準仕上げ温度は、() ~200 °Cである。
- (3) アクリル素材製品のアイロンによる標準仕上げ温度は、() °C以下である。
- (4) ランドリー用水の適正 pH 値は、() ~8.6 である。
- (5) ドライ仕上げの最適な蒸気圧は、() Mpa である。
- (6) 毛皮の最適保管温度は、10~() °Cである。
- (7) 毛皮の最適保管湿度は、45~() %である。
- (8) ランドリー用水内に鉄分が存在すると、生地の黄褐色の原因となるので、鉄分は() ppm 以下が望ましい。
- (9) 石油系ドライ機における溶剤の温度は、() °Cを超えないようにして洗浄する。
- (10) テトラクロロエチレン系ドライクリーニング機を扱う労働者について、1 カ月を超えない期間ごとに、労働者氏名、従事した作業概要、従事期間等を記録し、() 年間保存しなければならない。

(語群)

①0.1	②0.5	③0.7	④3	⑤4	⑥5.8	⑦6
⑧6.8	⑨15	⑩30	⑪35	⑫50	⑬60	⑭90
⑮100	⑯120	⑰160	⑱180	⑲10,000	⑳9,000	

問4 次の記号は、繊維製品の取扱いに関する記号である。それぞれの記号の説明として、正しい方を解答欄に記入しなさい。

(1)		① 液温は60 °Cを限度とし、洗濯機で弱い処理ができる。 ② 液温は60 °Cを限度とし、手洗いができる。
(2)		① 乾燥処理記号 ② 漂白処理記号
(3)		① 日陰のぬれ平干し自然乾燥がよい。 ② 洗濯処理後のタンブル乾燥ができる (排気温度上限80 °C)。
(4)		① 洗濯処理後のタンブル乾燥処理はできない。 ② 漂白処理後は自然乾燥処理をおこなう。
(5)		① 底面温度 150°Cを限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。 ② 底面温度 110°Cを限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。

問5 次の文章について、正しいものを選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニングにおいて、水で収縮しやすく、毛羽立ちやすく摩擦に弱い繊維はどれか。
①綿 ②レーヨン ③毛 ④ポリエステル ⑤絹
- (2) クリーニングにおいて、染色堅牢度不足による変退色や移染、日光と汗の複合による変退色などのトラブルが発生することがある繊維はどれか。
①綿 ②レーヨン ③毛 ④ポリエステル ⑤絹
- (3) 漂白剤や蛍光増白剤を用いるときに注意しなければならない染色品はどれか。
①プリント加工製品 ②強撚糸加工製品 ③生成り製品
④撥水加工製品 ⑤起毛加工製品
- (4) 皮革製品の性質で正しいのはどれか。
①染色堅牢度が強く、クリーニングでは脱色しない。
②汚れ、シミが深部まで浸透しにくく落ち易い。
③熱に弱く高熱を受けると硬化収縮する。
④水に濡れても柔軟性が変化しない。
⑤カビが生えにくく、生えても収縮を起こさない。
- (5) ランドリーとドライクリーニングの特徴の比較で正しいものはどれか。
①ランドリーは衣類の型崩れ、収縮、脱色が小さいが、ドライクリーニングは大きい。
②ランドリーは水系で高温の強い機械力に耐えられる素材が対象であるが、ドライクリーニングはほとんどの衣料が対象となる。
③ランドリーは風合い変化が小さいが、ドライクリーニングは大きい。
④ランドリーとは水に耐久性のない衣料品を、石鹼、洗剤、アルカリ剤などを用いて洗濯機で温水洗いする洗濯方法である。
⑤ドライクリーニングはランドリーよりも汗などの水溶性汚れがとれる。

令和3年度クリーニング師試験 解答用紙

受験番号	氏 名

1 衛生法規に関する知識 (25問)

問 1						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

問 2				
①	②	③	④	⑤

問 3				問 4			
(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)

問 5	問 6	問 7	問 8	問 9

2 公衆衛生に関する知識 (25問)

問 1			問 2			問 3			問 4		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)

問 5		問 6		問 7		問 8	
(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)

問 9									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

3 洗たく物の処理に関する知識 (40問)

問 1									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

問 2									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

問 3									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

問 4				
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問 5				
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

令和3年度クリーニング師試験 【解答】

受験番号	氏名

1 衛生法規に関する知識 (25問)

問1						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
カ	ソ	コ	ク	サ	タ	イ

問2				
①	②	③	④	⑤
オ	シ	イ	ア	ケ

問3				問4			
(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)
○	×	×	○	○	○	×	×

問5	問6	問7	問8	問9
イ	ア	ア	イ	イ

2 公衆衛生に関する知識 (25問)

問1				問2				問3		問4
(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
ウ	ア	イ	イ	×	○	○	×	ア	イ	イ

問5	問6	問7	問8		
イ	ウ	ア	(1)	(2)	(3)
			×	○	×

問9									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
○	×	×	○	○	×	○	×	○	○

3 洗たく物の処理に関する知識 (40問)

問1									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	○	×	○	○	○	×	○	×	○

問2									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
10	1	3	18	23	19	7	16	13	22

問3									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
20	18	16	6	2	9	12	1	11	10

問4				
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	2	1	1	2

問5				
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
3	1	3	3	2